

令和4年度第2次補正

探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援

補助金2023

効果報告レポート

LX DESIGN

【事業者名】

株式会社LX DESIGN

【サービス名称】

複業先生

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

2024年1月

■探究学習等サービスの概要

複業で先生をしたい人と学校をつなぐ 教育特化型 外部人材のマッチングサービス ”複業先生“

これまで教員だけでは手が回りづらかったキャリア教育、探究学習・総合的な学習、プログラミング・グローバル・IT・起業教育・金融教育・性教育などの各領域において、民間人材の知見やネットワークを手軽に活用することができ、児童・生徒が社会とつながりながら学びを深める「社会に開かれた教育課程」を推進しています。

【他社サービスとの違い】

実社会で活躍する、さまざまなバックグラウンドを持った社会人講師を多数抱えており、探究学習を実践していきたい先生方および授業を受ける子どもたちのニーズに沿った授業展開が可能であること。
 提供する講師の幅広さ、現場感、リアリティにおいてプラットフォームとして講師陣を抱えている点が強みです。
 また、一つの探究学習のテーマについて、長期間に渡って複数の角度からそのテーマを追求していく形の探究学習を支援するサービスと比べて、弊社の本事業ではそのコンテンツの幅広さから、年間で多数のテーマを扱うカリキュラムにも柔軟に対応できることがメリットです。
 また、各コンテンツ(授業展開)においては、弊社コーディネーターによる社会人講師並びに担当教員とのやりとりのなかで、学習の質の担保も実現できる点が強みとなります。



【活用場面】

主に探究学習・キャリア学習など外部の人材と協働する場面をご利用いただいています。

東京都の中学校・高校では、初年度75時間、主な導入目的としては、社会で活躍している本物との出会いを体験させたいといったことをメインに採択していただいていたのですが、児童・生徒の学びを深化させたいといったニーズが高まり、翌年度では、少人数でのゼミ形式で学ぶ目的を更に強めて、デザインやサイエンス研究・エンタメ制作といった既存の学校教育に囚われない児童・生徒自身の興味に紐づいた探究的な学習テーマをもとにした授業を多く展開しています。また、静岡県の中学校では、初年度は5件、主な導入目的としては、児童・生徒のキャリア探究をメインに採択していただいていたのですが、地域課題の解決に紐づいた学習ニーズが高まり、翌年度では、郷土愛の育成やICT活用した表現の目的を更に強めて、地域課題解決型の学習やプレゼンテーションスキルの育成をもとにした授業を多く展開しています。

【サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)】

弊社の本事業では、専門性の高い外部講師を多く活用し探究学習を推進支援すると共に、各校の必要ニーズに即したカリキュラムマネジメントを提案いたします。また実施校には、弊社コーディネータを固定し、実施校担当者様とは丁寧な意見交換と密な連絡により、立案計画から実施の進捗管理、フィードバックまで行います。また、弊社コーディネータとの授業後の毎時間の振り返りを可能な限り実施することで、先生方にはOJT的な取り組みから、指導力・ファシリテーション力を身につけていただけます。

【児童・生徒・教職員が抱える課題】

- (1) 探究活動において、外部人材と繋がれず児童・生徒の学びのアウトプットが調べ学習だけでおわってしまう
- (2) 教員が外部人材を探し、依頼・交渉をするまでに煩雑な対応や多くの稼働が求められてしまう
- (3) 探究学習における外部人材との協働活動が学校や教員の個の力量や人脈に偏ってしまう
- (4) 教員の探究学習に関するマインドセットや知識・経験が不足している

【サービスの強み】

(1) 学習者の興味関心に応じた探究活動: ビジネスの第一線で活躍するビジネスマンから、世界で活躍するアーティストまで、さまざまな幅広いバックグラウンドを持った社会人講師がいるため、子どもたちの多様な興味関心に応じた授業を展開することができます。また、弊社コーディネーターとの事前に打ち合わせを行い、講義および探究活動の一連の流れの中で目標とする学びについて目線合わせをするので、教職員の意図した深い学びへと繋げていくことができます。

(2) 情報活用能力育成の機会の提供: 社会人講師による出前授業の後に取り組むワークでは、講義から学んだことをどのように発展させていくか、そのために不足している情報を自らどのように補っていくかについてアシストしています。出前授業のみに終始せず、その後の探究活動の深化に必要な情報活用能力まで見据えたプログラムを提供します。

■探究的な学び支援補助金における活用場面

例：外部講師（複業先生）によるオンライン授業

「複業先生」のサービスを採択していただいた全ての学校(全60校)を対象に、複業先生4名分(4コマ)の授業を提供。外部人材とつながりが不足している学校や、児童生徒のキャリアにおけるロールモデルや多様な機会の乏しさの解決に貢献しました。また、先生方も指導の仕方や授業の仕方が固定化されている中で、新しい授業のあり方や、子供たちへの向き合い方に、新しい発見があったとう先生方もいらっしゃいました。

効果

- ・授業は、キャリア教育、がん教育、プログラミング教育、グローバル教育などテーマは多岐に渡って展開しました
- ・また、複業先生システムでAIによる指導案作成機能やチャットの活用によって、先生方の授業準備にかかる負担を軽減。
- ・探究活動において、調べ学習で終わってしまいがちな授業のその先のアウトプットの機会を作ることができました。
- ・教員が外部人材を探し、依頼し、交渉をするまでにかかる煩雑な対応や稼働の負担軽減を実現しました。

いろんな大人の話聞いておいた方がいい理由

「やりたいこと」が
あった方が
人生楽しいから

(知らない大人の生き方が、それを見つけるヒントになるかも)



豊屋ラッパー考案！

なんで？の法則を使ってみよう
5秒で自己PR
相手に興味を持ってもらうワークシート

例：平日は豊職人、週末はラッパーの徳田です

↑
なんで？ポイント



■探究的な学び支援補助金における活用場面

例：探究学習勉強会

「複業先生」のサービスを採用していただいた全ての学校(全60校)を対象に、先生も自由に学ぶことができる環境を提供するため、下記のようなさまざまなテーマについて学べるオンライン勉強会を月一回の頻度で実施した。また、当日の参加が難しい学校に対しては、録画配信を行った。

- ①「探究的な学びとはなにか？調べ学習となにが違うの？」
- ②「探究学習において便利なワーク&テーマ集」
- ③「外部人材との協働をデザインする / 教員に求められる役割とは？」
- ④「探究学習における学校のビジョンや目標の設定 / 評価の指標づくり」

効果

・元教員や元校長先生による探究に関する専門的な内容を体験しながら学ぶ機会を提供することで、探究活動に対する知見を補う事ができた。

・多様なキャリアを持つ人材との接続や多様な教育活動の実現方法を提供できた。

学習評価の種類 <small>小野瀬倫也「形成的評価」「理論と実践をつなぐ理科教育学研究の展開」(2022)をもとに作成</small> 複業先生			
	診断的評価	形成的評価	総括的評価
実施時期	単元はじめ	教授・学習活動の進行中 <small>信頼性重視</small>	単元、学期、学年の終了時 <small>妥当性重視</small>
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされている技能があるかないかの確認 ・あらかじめ習得されているレベルの確認 ・内容に対する好嫌や学習方法に対する適性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の習得の有無、程度及び欠落の発見 ・生徒の学習の進展に関する教師と生徒へのフィードバック ・治療的指導の方針の確定 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の反省と改善 ・生徒の成績決定と記録、通知、証明
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自作の予備テスト(理解・好嫌) ・自由試行 ・標準学力検査 ・観察、面接 ・アンケートによる生活実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発問と挙手、発表、つぶやき ・実験ノート、報告書、作品 ・簡単なテスト ・自己評価、相対評価 ・概念図法 ・自由試行 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・教師自作テスト ・標準学力テスト ・実験ノート、報告書、作品

■探究的な学び支援補助金における活用場面

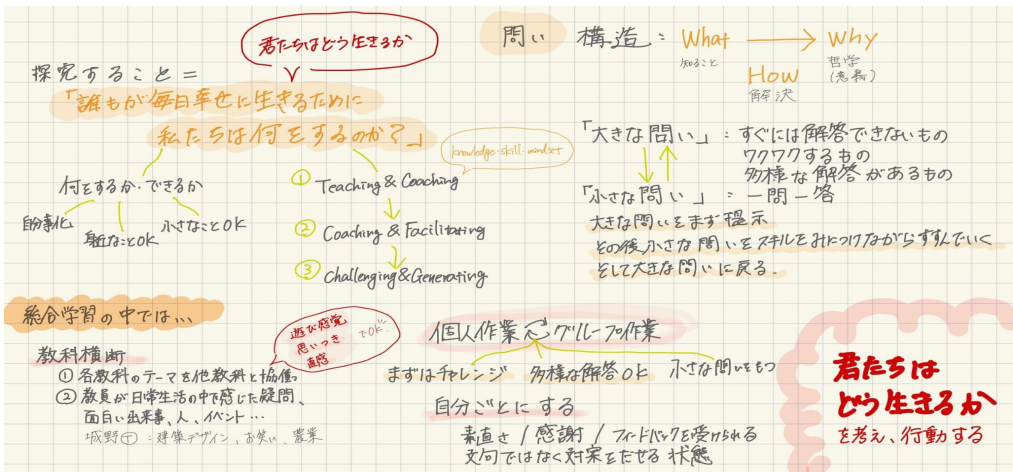
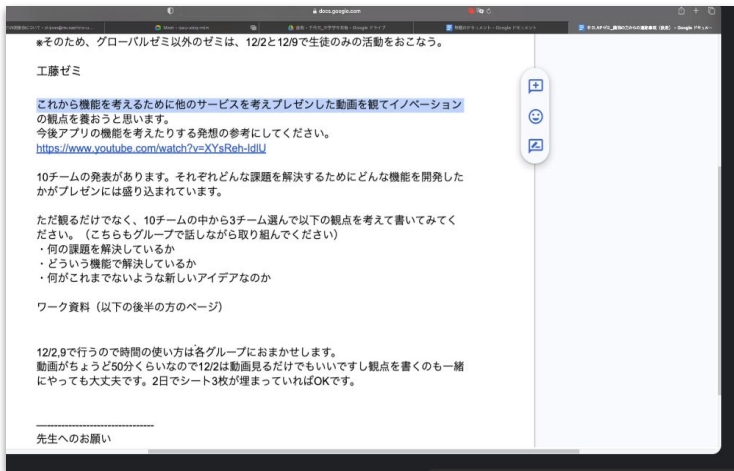
例:教員研修

学校が抱く課題に直接アプローチするために、ニーズに合わせた教員研修を対面にて実施した。

テーマ:探究学習の初歩 / 探究学習を促す問い / 教師間における運営のオペレーション / 発表などの探究の表現方法

効果

探究学習を本格的に始めるにあたって、実際に運用していくための実現可能な体制やメソッド、児童・生徒との探究学習における問いや、やりとりにおける姿勢を学び、探究学習活動に対する大きな不安を取り除くことができた。



学校等設置者数:17

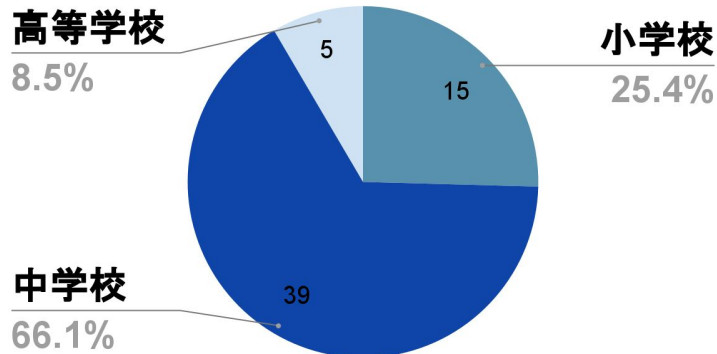
浜中町教育委員会、木古内町教育委員会、釧路町教育委員会、釧路市教育委員会、茨城県教育委員会、戸田市教育委員会、青梅市教育委員会、東大和市教育委員会、清瀬市教育委員会、燕市教育委員会、新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、新潟県教育委員会、胎内市教育委員会、滑川市教育委員会、下田市教育委員会、熊本市教育委員会

学校数: 59校

学校種ごとの内訳

小学校: 15校 中学校: 39校 高等学校: 5校

学校種ごとの内訳



■探究学習等サービス活用による成果 | 概要

成果測定方法

- ・ 社会人講師による**授業の前後に児童・生徒が回答するアンケート**の回答によって測定
- ・ アンケートの回答結果は**結果レポート**の形で、学校へ返却(詳細は後述)

アンケート実施タイミング

- ・ 授業直前および授業直後を想定
- ・ ただし、学校の実施運営の都合上、実施が難しい場合は授業前および授業後の任意のタイミングで実施可能

各種件数

- ・ アンケート実施学校数:17校
 授業前実施:12校／授業後実施:15校
 授業前後ともに実施:10校
- ・ アンケート実施授業数:35件
 授業前実施:21件／授業後実施:32件
 授業前後ともに実施:18件
- ・ アンケート総回答数:4,315件
 授業前:1,781件／授業後:2,534件



■結果レポート提供サービス | 実施の概要

概要

複業先生の授業前後において、児童・生徒の皆さんの意識・意欲に関する アンケートを実施し、その概要をレポートとして実施した学校の先生方に返却

複業先生の授業がどのように児童・生徒の皆さんの学びにつながったのかを把握し、 学校内、保護者への共有や、児童・生徒への声掛けが可能

アンケートの実施方法

- ・ 所定のGoogleフォームから回答。実施担当先生に事前に回答用のURLを2種類送付
- ・ 授業を受ける児童・生徒は、回答するために準備された端末から回答
- ・ 回答時間は授業前は3分程度、授業後は5分程度で収まるボリューム(複業先生の授業としての時間内でアンケートに回答が可能)

アンケートの項目

- ・ 探究学習のプロセスの枠組みに沿って、授業実施前の授業テーマに対する意識、授業実施後の自身の知識の変化、その後の情報収集に対する意欲、自身の考えを他者に共有する意識等を把握する項目を設定
- ・ 先生が個々の児童・生徒を把握するために、学校名、クラス、番号を取得。個人名は取得しない

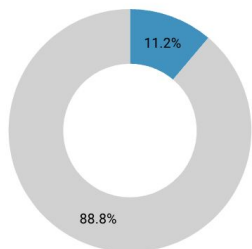
結果レポートの内容

- ・ レポートは、授業参加者全体の傾向が把握できる全体レポート、クラス別に把握できるクラスレポート、個人単位で把握できる個人レポートの形式で作成して送付
- ・ 複業先生の授業ご担当先生、普段児童・生徒と接しておられる担任の先生、それぞれの先生方に対する児童・生徒の状況把握に活用可能

■結果①：授業前／授業後の児童・生徒の意識について【定量】

◇授業前

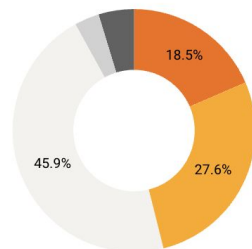
1. 授業に対する事前の取り組み



今回のテーマについて、自分で何か調べましたか？

- 1. 調べた
- 2. 特に調べていない

2. 授業への期待



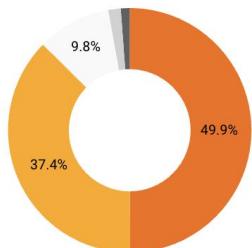
今日の授業をどれくらい楽しみにしていましたか？

- 1. 楽しみにしていた
- 2. 少し楽しみにしていた
- 3. どちらでもない
- 4. あまり楽しみにしていなかった
- 5. 楽しみにしていなかった

- 授業前に講演テーマについて自分で調べる活動を行った児童・生徒はほとんどおらず、公演前の準備として具体的な行動はあまり行われていなかった。
- 一方で、授業に対して何かしらの期待をしていた児童・生徒は半数近く存在しており、授業に対して前向きな意識を持っていた児童・生徒が多かったことも伺えた。

◇授業後

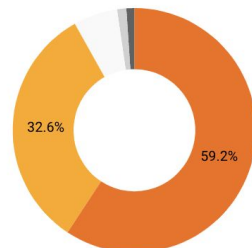
1. 授業による知識の変化



知りたかったことを知ることが出来ましたか？

- 1. 知ることができた
- 2. 少し知ることができた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり知ることができなかった
- 5. 知ることができなかった

2. 授業の満足度



今回の授業は今後立ちそうですか？

- 1. 役に立ちそうだと思う
- 2. 少し役に立ちそうだと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり役に立ちそうだと思わなかった
- 5. 役に立ちそうだと思わなかった

- 授業前に知りたかったことについては、講師の授業を経て、ほとんどの児童・生徒が知ることができるようになったという回答が見られた。
- また、授業で学んだことについて、今後の役に立ちそうだと回答した児童・生徒も9割を超えており、授業内容の満足度が高く、授業後のアクションにつなげようという姿勢が示唆される結果となった。

■結果②: 授業後の児童・生徒の意識について【定性】

◇授業後

3. 今後さらに知りたいこと・気になったこと

総論 講演で講師が話した内容をより具体的に把握しようとするような回答、講師のプロフィールや体験について深掘りするような回答、探究学習において自身が抱えている課題を解決するために必要な情報を深掘りするような回答が見られた。

具体的な回答

「路上で踊っていた時、9割はスルーだったと言っておられましたが、どうして路上で踊ることをやめなかったのか。(富山県・小学生)」
 「熊本には観光客が他の県に比べて少ないからどう宣伝したら呼び入れられるのか(熊本県・高校生)」

4. 他の人に伝えたい学び

総論 講演内で特に自身が感銘を受けた内容や、講演全体を通してのまとめとなる内容、講演を受けて今後具体的にアクションに移していきたいことを中心とした回答が見られた。

具体的な回答

「保育の楽しさ、やりがいを伝えるための取り組みは広告以外にも園児の保護者へ伝える方法もある。(東京都・中学生)」
 「RESASというアプリでは都道府県別での宿泊者数の構成割合などが比較することができて便利だと伝える。(熊本県・高校)」

◇付録: 授業前・授業後アンケートの質問項目

■授業前

No.	質問文	回答形式
1	今回のテーマについて、すでに何か調べましたか？	選択式(調べた特になし)
2	今回の授業をどれくらい楽しみにしていましたか？	選択式(楽しみにしていたが少し楽しみにしていなかった)
3	今回の授業で知りたいことを一つ教えてください	自由記述

■授業後

No.	質問文	回答形式
1	今回の授業を聞いて、知りたかったことを知ることが出来ましたか？	選択式(知ることができたが少し知ることができなかった)
2	今回の授業を聞いて、どれくらい今後の役に立ちそうだと思いますか？	選択式(役に立ちそうだと思うが少し役に立ちそうと思わなかった)
3	今回の授業を聞いて、気になったこと・もっと知りたいと思ったことはありますか？	自由記述
4	今回の授業を聞いて、得られた発見を他の人に伝えたいと思ったら何を伝えたいですか？	自由記述

■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

【直面した課題】

(1) サービスの採択・利用時期が学期途中であるため、限定的なサービス利用になってしまった

弊社サービスの「複業先生」のサービス概要説明やその他学校間交流/ 探究学習に関する勉強会の実施等をそれぞれの学校のカリキュラムや教育課程に合わせて全て体験してもらうことを目的としていた。しかし、サービス提供期間が短期間だったため「学校に寄り添ったカリキュラムに沿ったサービス提供」を強みとしているところが活かしきれなかった。

(2) 弊社コーディネーターが介入しない授業に関しては、授業満足度がコーディネーターが介入するもの 比べて低くなった

弊社サービス「複業先生」を活用して出前授業をする際、学校教員は授業の内容やファシリテートをするコーディネーター(弊社スタッフ)をオプションでつけることができる。このオプションを付けた授業では満足度が4.8(5段階中)、付けなかった授業は3.75となった。

(3) 導入先学校内へのサービス認知不足

複業先生による出前授業サービス以外にも探究学習に関する教員研修や勉強会の企画と開催を実施した。しかし、(1)でも提示したように、サービスの提供期間の短さも研修の依頼や定期勉強会の参加者が想定を下回った

【改善策】

(1)限られた期間であっても採択後の打ち合わせや初回面談をスピーディに実施する

採択された後の連絡のフローや初回打ち合わせの日程調整をより早くできるようなオペレーションを構築する。

(2)複業先生登録者の授業力や授業に向けての打ち合わせへの対応力をさらに上げるような研修や勉強会の実施を強化する

コーディネーターが介入しなくても質の高い授業が実施できるように、複業先生に対する勉強会や授業力・打ち合わせ力養成講座を定期的を開催する。

(3)できるだけ各学校のニーズやスケジュールに合わせた研修を組む

今回は、日程を弊社側で設定していたため参加人数が少なかったと思われる。時期や時間は学校に事前にアンケートをとる等の対応をする。

【興味・関心を持つ授業】

生徒・児童の声

「諦めないこと、自分らしさや個性を大切にすることを学んだ」

「自分の心を信じる、前向きに考える、後悔しない選択をするなどの自己信頼やポジティブ思考を重視する姿勢の大切さを受け取った。また、具体的な職業経験についての知識も深まった」

「困難に直面しても解決策を見つけ出し、前進し続けるポジティブなメッセージを、社会人の話に感銘を受けた」

教職員の声

「途中で児童・生徒に考えさせる時間を設けてくださったので、児童・生徒の興味が比較的続いてくれていた点が良かったです。」

「実際に海外経験をされている複業先生が授業するからこそ、興味・関心をひけたのではないかと思いました。」

「映像を交えて、具体的に分かりやすく示してくださったので、子供たちは、ずっと画面にくぎ付けで、話の内容が理解しやすかったと思います。」

LX DESIGN

会社名	株式会社LX DESIGN
代表取締役	金谷 智
従業員数	26名(業務委託者含む)
住所	東京都千代田区麹町 1-4-4-2F
会社URL	https://www.lxdesign.me/
サービスURL	https://www.fukugyo-sensei.me/

事業内容

テクノロジーとコミュニティによる教育業界のアップデートをミッションとし、外部人材活用支援プラットフォーム“複業先生”を運営している。

複業先生の”スポット授業提供”に特化した、若年層向けオンライン教育プラットフォームで、学校向けサービスから始まり、塾などの学校外教育施設への提供も開始。探究学習、キャリア教育、プログラミング、部活動など広範囲をカバーしている。



～複業で先生をしたい人と学校をつなぐ～

問い合わせ窓口

info@lxdesign.me